

- 本町では、私有林人工林がなく木に触れる機会がないことが課題となっている。
- このため、出生記念品贈呈事業の取組を実施し、幼少期より木のぬくもりに触れて、豊かな心を育む「木育（もくいく）」を推進することを目的としている。

□ 事業内容

出生記念品贈呈事業

- ・保健センターが実施する4か月検診において、大阪産材（泉州産材）を活用した出生記念品（木製積み木）の贈呈を行っている。

【事業費】1,129千円（うち譲与税1,122千円）

（譲与税は、物品購入に係る部分に充当）

【実績】大阪産材（泉州産材）を活用した木製積み木120セットを購入し、4か月検診時に配布を行った。

□ 取組の背景

- ・本町では、人工林私有林がなく、木に触れる機会が少ない。
- ・幼少期より木のぬくもりに触れて、豊かな心を育む「木育（もくいく）」を推進する。

□ 工夫・留意した点

- ・保健センターと連携し、実施している。
- ・地元の泉州産材を活用

□ 取組の効果

- ・幼少期より木のぬくもりに触れる機会ができる。
- ・積み木遊び体験を通じて、知育効果にもつなげることができる。



（木製積み木）



（啓発チラシを同封）

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：1,857千円	②私有林人工林面積（※1）：－	
③林野率（※1）：－	④人口（※2）：16,567人	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より